令和３年度授業改善推進プラン　美術科

大田区立大森第四中学校

１　令和２年度授業改善推進プランの検証

（１）　成果

・どの学年も落ち着いて授業に参加し、意欲をもって制作に取り組めていた。
・個別指導を多く行い、生徒個々の考えやつまずきを把握しながら指導をすることができた。
・作品が未提出の生徒がいないように指導や声掛けを細めに行い、最終的に清陵祭展示の部に生徒がそれぞれ１点以上展示をすることができた。
・分かりやすく具体的な説明を心掛け、創造的に制作を進められるように指導することができた。

（２）　課題

・個別指導を心掛けているが、アイデアスケッチの段階で進度の差が出てしまい、作品提出が遅くなる生徒も一定数いたため、個別指導の拡充が求められる。
・意欲をもって制作する生徒もいるなか、集中力が続かず作業が遅くなる生徒への指導を充実させる必要がある。
・一部の生徒において作業説明や授業内容を理解できていない様子が見られたため、より分かりやすく理解やすい説明や授業展開が必要である。

２　授業改善のポイント

（１）　知識・技能

・美術に関する知識を生徒が身に付けやすくするために、タブレットのアプリケーションや動画教材など多様なＩＣＴ機器・機能を使用し、楽しく理解しやすい授業を実施する。
・様々な素材や道具、機器を実際に使用する機会を多く設け、丁寧な個別指導を心掛け、技能の習得を補助する。

（２）　思考・判断・表現

・生徒がアイデアや考えを深め、思考を整理して表現しやすくなるようなワークシートや補助教材を作成し導入する。
・生徒の考えや表現したものを授業クラス全体で都度共有し、多様な考えを知る機会を多く設けることで、自己肯定感や多様性を認識できるようにする。

（３）　主体的に授業に取り組む態度

・授業時間内に作品が完成できるように、明確な指導目標・授業計画の提示をしていく。
・他者と作品や考えなどを共有する機会を積極的に設け、切磋琢磨しながら意欲をもって授業に取り組めるような授業環境をつくる。